

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	第2回加東市教育振興基本計画策定委員会
開催日時	令和7年8月8日(金) 13時26分から14時52分まで
開催場所	発達サポートセンターはぴあ 2階 多目的室
議長の氏名 (委員長 田中寿一) 出席及び欠席委員の氏名 (出席委員) 別惣淳二委員、田中寿一委員、後藤純子委員、神田英昭委員、稲継健太郎委員、 安原一樹委員、石井博昭委員、山羽勲委員、藤川憲二委員、高橋憲司委員、 竹内守男委員 (欠席委員) 竹内貞美委員	
説明のため出席した者の職氏名 なし	
出席した事務局職員の職名 教育長 藤原路寛 <教育委員会事務局> 教育振興部長 鈴木敏久、参事兼学校教育課長 井上裕子、 参事兼発達サポートセンター所長 藤原良二、教育総務課長 西山英希、 生涯学習課長 松本裕介、中央図書館長 藤田智架子、 小中一貫教育推進室副課長 泥谷智明、こども教育課長 長谷川貴子、 学校教育課副課長兼部活動改革推進室長 郡龍仁 <策定委員会事務局> 教育総務課副課長 堅田美佳、教育総務課主査 鷹尾実和	
議題、会議結果、会議の経過及び資料名 【議題、会議結果】 (1) 第4期加東市教育振興基本計画の骨子案について 事務局から資料1、資料2に基づき説明し、委員から質疑あり。 (2) 基本理念と基本方針、施策体系について 事務局から資料3、資料4に基づき説明し、委員から質疑あり。 【会議の経過】 別紙、「令和7年度第2回加東市教育振興基本計画策定委員会 会議の経過」のとおり 【資料】 ○資料1 第4期加東市教育振興基本計画の骨子案について	

- | | |
|-------|-----------------------------|
| ○資料2 | 第3期計画の主な取組と課題 |
| ○資料3 | 基本理念と基本方針（案） |
| ○資料4 | 体系図（案） |
| ○参考資料 | 令和7年度「ひょうごの教育」（保護者向けリーフレット） |

令和7年10月6日

委員長 田中 寿一

署名人 後藤 純子

署名人 高橋 憲司

【別紙】 令和 7 年度第 2 回加東市教育振興基本計画策定委員会 会議の経過

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 会議録署名委員の指名

(委員長)

それでは、議事に入る前に会議録署名委員の指名について。第 1 回では、会議録署名委員を指名していませんでしたので、事務局を通じて第 1 回会議録署名委員を別惣委員、竹内守男委員にお願いしました。第 2 回目以降の署名については、各委員の机の上に配布している会議録署名案のように、2 名ずつお願いしたいと思います。第 2 回は後藤委員、高橋委員、第 3 回は神田委員、藤川委員の順でお願いします。

会議録の確認については、事務局からメール、書面等でお送りしますので内容のご確認をお願いします。

改めまして、今回の会議録の署名委員は、後藤委員、高橋委員です。よろしくお願いいたします。

4. 議題

(1) 第 4 期加東市教育振興基本計画の骨子案について

(委員長)

まず、議題 1、第 4 期加東市教育振興基本計画の骨子案について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

○資料 1、資料 2 に基づき説明

(委員長)

説明について、何かご質問があればお願いします。

(委員)

資料 1、3 ページの計画の位置づけで、第 3 期加東市教育大綱と第 4 期加東市教育振興基本計画の整合性について、本文には書かれていないことが気になります。他市では、文章で明確に整合することが書かれています。整合することを文章で書いてほしいです。それと、同時並行で議論が進んでいるのであれば、その詳細の内容を策定委員会で事前に公開してほしいと思います。

(委員長)

教育大綱と教育振興基本計画の関係性については、よく聞かれるところです。そのことについて、事務局よりお願いします。

(事務局)

教育大綱は、加東市の総合教育会議で骨子案について協議しています。並行して教育振

興基本計画を策定しますので、教育大綱と教育振興基本計画は最終的に整合するように策定を進めます。まずは、この教育振興基本計画の内容を固めたいと思います。同時進行のため、調整が難しいところですが、それぞれの内容を踏まえて整合を図りながら進めていく予定です。

(委員長)

教育大綱と教育振興基本計画はどちらが上下の関係にあるというわけではなく、並列で整合性を図りながら作成していければと思います。

(委員)

8 ページの人口について。加東市の特徴として少子化だが外国人は増えていく傾向があることを市民に知ってもらったうえで、計画を策定するべきかと思います。

(委員長)

外国人の動向についてもここに記載すると、この後記載されている部分の説明がわかりやすいのではないか、ということだと思います。事務局よろしいですか。

(事務局)

委員がおっしゃるとおり外国人の割合は多いので、記載を検討したいと思います。

(委員長)

資料 1、2 含めてご質問があればお願いします。

(委員)

資料 2 の例えば基本方針 1「未来を切り拓く子どもを育む小中一貫教育の推進～学びの連続性を大切にした教育の充実～」に、基本的方向（１）～（６）まであり、その下に主な取組があります。それぞれの基本的方向に対して、その下にあるどの取組が対応するのか、わかりやすく記載をお願いしたいと思います。これだと、結局何をしているのかわからなくなってしまうと思います。記述方法の工夫をお願いします。

2 点目に、主な取組の実績等の記載がありません。後に出てくるのであれば、こういう結果だからこの文章に繋がるという表現にしてもらえればと思います。

最後に、主な取組に、加東市の特徴である小中一貫校についてもう少し詳細な記載があれば、より良いと思います。

(委員長)

3 点のご質問、ご意見がありました。まず 1 点目は、記述について。●で羅列されている主な取組や取組の課題と、その上の基本的方向との整合性が見にくくてわかりにくいことです。2 点目は、記述内容について。「～しました。」と表現がありますが具体的な数値がないため、何故このような表現になっているかわかりにくい、具体的な数値を入れてはどうか、とのご意見です。3 点目は、小中一貫校の推進は基本方針の中にもありますが、加東市の特徴である小中一貫校についての表現が少し弱いのではないかと、もう少し表記してはどうか、とのご意見でした。事務局お願いします。

(事務局)

まず、1点目について。基本的方向のどれに該当するか、数字で明記したほうがわかりやすいと思いますので、修正いたします。

2点目について。取組内容の実績数値については、資料1の1ページ目に「本市の教育の現状」としていろいろなデータを今後付け加える予定です。また、毎年行っている点検と評価で成果指標等の数字もありますので記載について検討いたします。

3点目について。小中一貫校の推進の記述についても、ご意見を踏まえて検討したいと思います。

(委員長)

改正案については、次回以降にお願いします。

その他にご質問、ご意見があればお願いします。

(委員)

資料2の3ページ目にある学校単位で行われていた部活動を地域展開する件について、モデルで実施していること等、もう少し記載することがあると思います。

(事務局)

部活動の地域展開に取り組んでいますが、大変課題が多く調整が多岐にわたります。これまでの取組の課題として整理した内容を再度精査し、ここに反映できるものは反映したいと思います。

(委員)

小中一貫と部活動の地域展開は新聞でも話題となっていると思いますので、よろしくお願いたします。

(委員長)

部活動については、まだ確定していない部分が多いです。記載できる部分と、今後どう変わるかわからない部分があります。そのあたりの精査も含めてお願いします。

(委員)

主な取組はせっかく取り組まれていることなので、成果も含めて表記したほうがわかり良いと思います。そうすると、主な取組と成果、主な取組の課題というふうに成果と課題が明確になります。

(委員長)

取組だけでなく成果も明記すれば、課題との関係も明確になり良いのではないかとのご意見です。事務局よろしいですか。

(事務局)

主な取組と成果について、記載していきたいと思います。

(委員)

資料2の1ページ目の基本的方向(5)「インクルーシブ教育の充実」とありますが、読んでも具体的に何をしたのかわかりづらいです。もう少し具体的に記載してほしいです。それと併せて、例えば幼稚園や保育園で医療的ケアが必要な子ども達があります。幼稚園や保育園では手厚く見てくれますが、他市では小1の壁で小学校では対応できないからと小学校に通えない話も聞きます。そういうことがないように、加東市は教育に関しては兵庫県トップクラスの支援をしてもらえるところにしてほしいので、そのような表現を検討してほしいです。

次に不登校の支援について、フリースクールやオルタナティブスクール等でも出席扱いにするなど、いろいろな場所で支援できるようにしてほしいと思います。

最後に、教職員の3分類について。保護者は3分類があることすら知りません。教職員の働き方改革について、現場の負担を軽減するためにも加東市としては基本的には3分類に含まれる業務を教師はせずにサポートの方にしてもらおうというような表現を入れてほしいと思います。

(委員長)

3点ありましたが、記述の関係もあるのでどこまで記述するかも含めて、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

今回の資料は前計画の取組と課題なので、記載できるところは記載しますが、次期の4期の取組の中でどのようにしていくか検討したいと思います。

(2) 基本理念と基本方針、施策体系について

(委員長)

続いて議題2、基本理念と基本方針、施策体系について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

○資料3、資料4に基づき説明

(委員長)

ご質問、ご意見があればお願いします。

(委員)

基本理念「人間力の育成」、サブタイトルの「～豊かな学びが 新しい自分と地域を育むまち 加東～」も継承していくとのことで、考え方は私も変わらないと思いますし、コロナ禍もあり、できなかった課題を残しているとも思いますので、第4期の方向性としては良いと思います。

(委員長)

他にご質問、ご意見はありますか。

(委員)

資料４のⅠ（１）「確かな学力」の育成」に「③外国語教育の充実」とありますが、前回は英語教育だったと思います。英語から外国語に変えた理由はあるのでしょうか。

(事務局)

県でも外国語教育といわれており、教科にも外国語科がありますので、外国語にしています。

(委員)

実質的には英語ということですね。第２外国語をするのかと期待しました。外国籍の方々が英語以外の母国語で挨拶ができたり、遊べたりすることも含まれているのかと深読みしました。

(委員長)

これまでと変わらないということによろしいですね。

他にございますか。

(委員)

資料４のⅡ（２）「学校・家庭・地域の力を生かした教育の充実」の「①親の学びの機会の提供と保護者支援」で、「親」と「保護者」とあります。施設等もあるので、表現として親が良いのか保護者が良いのか、そこの配慮がほしいと思いました。

(委員長)

事務局はご意見として承っておいてください。

他にございますか。

(委員)

第３期加東市教育大綱の骨子には、「いじめの未然防止、早期発見・早期対応の徹底」と記載がありますが、こちらにはないのが気になります。どこにいれるのか考えられているのであれば教えてください。

(委員長)

必ず入らなければいけないことだと思いますので、回答できる範囲で事務局お願いします。

(事務局)

いじめ・不登校への対応は必ず入れようと思っていました。（３）「豊かな心」の育成」の④を最初は「いじめ・不登校等への対応」と考えていましたが、表現を「生徒指導の充実」に変更しました。ここにはＳＯＳの出し方や、いじめ・不登校、生徒指導全てが入ってきます。いじめ・不登校は大きな課題ですので、ご意見を伺いながら当初に戻すことも、検討したいと思います。

(委員長)

検討ということでお願いします。

(委員)

取組をやっていないとは思っていません。やられていることについて表現を考えて記載してほしいと思います。

(委員長)

他にご質問、ご意見はございませんか。

(委員)

第4期の基本理念と基本方針は、第3期の内容を基本的には継承するとのことで、その方向は構わないと思いますが、継承するのであればその理由が必要ではないかと思います。そういう意味で、第3期の成果と課題について、成果より課題がまだ残っているので、そこを充実させるために基本理念、基本方針、基本的方向の3つの柱、施策に至るまで、何故それを残す必要があるのか、それをもう少し根拠づけながら第4期の基本的方向を示すことができれば、納得できるのではないかと感じました。

(委員長)

第2期から第3期の時も、第2期の成果と課題を踏まえて第3期の基本理念と基本方針が立てられていたと思います。ご意見いただいたように継承する理由を明確にし、その表記をすることが大事だと思います。事務局はご意見として承っておいてください。

(委員)

資料4のⅠ(3)「豊かな心」の育成」に「④生徒指導の充実」とありますが、「生活指導」という言い方をしているはずですが、「生徒指導」だけだと、対象が中学生のみになってしまうと思います。小学生も対象であれば「児童・生徒の指導の充実」としたほうが良いのではないかと思います。意味があるなら、教えてください。

資料3の基本方針の後の数字がイメージ図は普通の数字ですが、その前段ではⅠ、Ⅱ～となっています。表記を揃えるようにお願いします。

(委員長)

生徒指導の箇所の表記について、事務局お願いします。

(事務局)

生徒指導・生活指導の大元になっているのが生徒指導提要になります。そこでも生徒指導という言葉がありますが、表記についてはご意見を踏まえて検討したいと思います。

(委員)

「生活指導」という言葉は、歴史的には封印された言葉の一つだと思っていますので、「生徒指導」をお願いします。ここで「生活指導」を持ち出すと、昭和40年代に戻ってしまい、それをわかっている人に何か言われると対応できません。意味合いとして使いたい気持ちはわかりますが、歴史的に「生徒指導」に変わって随分経つので、使うべきではな

いです。

(委員長)

ご意見のように、法的に明確に説明できる用語を使って表記することが大事だと思います。そのあたりを取り違えないようにお願いします。

(事務局)

数字の表記については、整合させたいと思います。

(委員)

全体的に見て、「同和教育」という言葉がなくなっていることについて。個人的にその流れは良いと思っています。人権教育という言葉が随分増えてきて、そのことは好ましいことだと思います。ただ、背景に旧来の部落問題学習や同和教育を含むところを、どう整合性を持って残すのか、残さないのか。加東市の教育施策の文言として、人権教育に統合する方向性を打ち出すという理解でよろしいですか。

(委員長)

これは教育施策で運動とは別なので、そのあたりは切り分けながら表記を考えていくことが大事だと思います。内容については、検討願いたいと思います。

(委員)

アフタースクールについての記載がありませんが、何か意味があるのでしょうか。

(事務局)

資料4の体系図の基本方針Ⅰ(6)「幼児教育の充実」で、具体的なことになるのでここには記載していませんが、取組の中で進めていく意味合いがあります。記載がないから取り組まないということではないとご理解いただければと思います。

(委員長)

そのあたりも第4期に向けて充実してほしいと思います。

その他ご意見がないようでしたら、本日のご意見を元に修正を加え、大きな変更点については次回策定委員会で提案いただきながら、素案の検討ができればと思います。

5. その他

(事務局)

閉会にあたり、石井副委員長より閉会のあいさつをお願いします。

(副委員長)

○閉会あいさつ

(事務局)

次回は9月下旬を予定していましたが、9月下旬から10月上旬開催を目途にしたいと思います。また改めて日程調整をさせていただきます。

6. 閉会